



今号は
『認知症カフェ』
を特集します！



令和4年度 認知症カフェ交流会を開催しました

2022年8月5日
北九州市認知症カフェ交流会
全国の認知症カフェの現状と今後
～継続に必要なことは何か



コスの題一



『全国認知症カフェガイド on the WEB』

- ◆2016年5月開設
- ◆ブログ形式の公式HP
- ◆全国6300か所以上の認知症カフェ情報
- ◆認知症カフェの開設
- ◆コスガ聡一の活動履歴、などを掲載

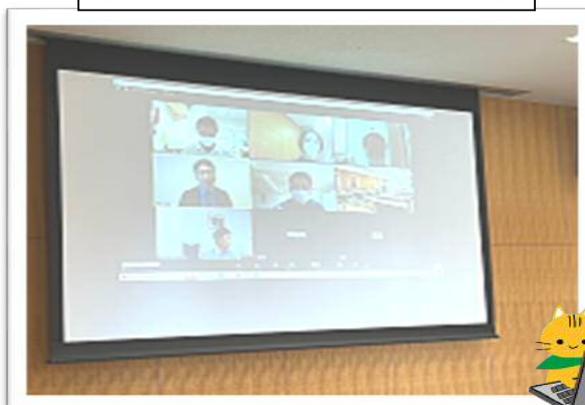
コスガ聡一氏
講義資料より



会場とオンラインのハイブリッド開催



グループディスカッションの様子



令和4年8月5日(金)、年に一度開催している『認知症カフェ交流会』を開催しました。

感染症対策のため、今年度も会場とオンラインによるハイブリッド形式で開催。コロナ禍で長期休止中の運営者、規模の縮小や時間を短縮等で開催している運営者の方々にご参加いただきました。

講師はフォトグラファーでジャーナリストのコスガ聡一氏にオンラインでご登壇いただき、全国の認知症カフェの情報や、コロナ禍でのカフェの継続や再開に向けてのアドバイスをいただきました。

2年ぶりのグループディスカッションでは、それぞれのカフェについて熱心に語られている姿があり、「小さくても必ず認知症カフェを再開します!」、「各地の認知症カフェを知ることができ参考になった」等、参加者のみなさんから前向きな言葉をたくさん聞くことができた有意義な交流会になりました。



講師のコスガ聡一氏(右は著書)

【 認知症カフェ訪問記 】

開催状況については、各認知症カフェへお問合わせください。



・徳力団地内にある商店街の一角で開催しています
・入口ではパンダの「春春(はるはる)」が迎えてくれます



『あそこのカフェ』

開催地：小倉南区徳力団地
開催頻度：第4土曜日
13:30～15:30
利用料金：実費相当（要問合せ）
問 合 せ：093-383-0736

徳力団地内にある商店街の一角に「暮らしの保健室 in 小倉」があり、月に1回「あそこのカフェ」が開催されています。

訪問時はちょうど5月の節句前で、色鮮やかな折り紙を使い、「鯉のぼりと兜」を作成。指先を使うことで脳トレにもなり、季節も感じることができました。

団地内であることと、入口を開放した空間なので、地域住民の方も気軽に顔を出したり、声をかけやすい環境なのも魅力的。

一度参加したら「次は何があるのかな?」とワクワクするカフェでした。



季節感のある作品作りのほか、毎月異なるプログラムが考えられています



市内の大学生がボランティアスタッフとして活躍!!
若者とのコミュニケーションが楽しいひとときにつながります

『いきいき井戸端会議』

開催地：八幡東区大蔵
開催頻度：第4水曜日
10:00～19:00
利用料金：無料
問 合 せ：090-7925-6450(藤井)
090-9495-3319(久原)



商店街角地の明るいカフェでふらっと気軽に立ち寄れます

商店街のある大蔵親和通りの「地域コミュニティカフェゴーゴーオクラ」で、月1回開催されています。

毎回午後14時から様々な職種による勉強会や音楽、ゲーム等のイベントも企画されています。

高齢者だけでなく、通学路であることから、様々な年代の方が立ち寄り、認知症について知り、交流できる場を目指しているとのこと。

ホッと一息つける地域のオアシスとなりそうなカフェです。



当日は懐メロを楽しむ会。会場は普段音楽イベントも行われる本格的な音響設備で、さながらライブハウスのように



緑あふれる北九州市テクノパーク八幡西のなかにあります



『わたぼうし』

開催地：八幡西区森下町

開催頻度：第2土曜日

10:30～12:00

利用料金：100円（ドリンク代含む）

問合せ：093-645-2700



いきいき楽しそうに参加されており、こちらも楽しくなりました。

社会福祉法人もやい聖友会が「黒崎まちなかオレンジカフェ」に続き、特別養護老人ホーム雪月花の交流ルームで認知症カフェをオープンしました。

リハビリ体操や脳トレの他、お天気の日には中庭での園芸活動等、毎回楽しみながら心身の活性化が図れるプログラムが組まれています。

広々とした明るい空間で、交流を楽しまれ、相談員やケアマネジャーが介護相談に対応、グループホーム入居者もカフェスタッフとして参加し、充実したカフェとなっていました。

レクリエーションやゲームに参加する皆さんの笑顔が印象に残りました。

【もっと広かれ、認知症カフェ！認知症地域支援推進員の想いです】



長引くコロナ禍で市内の認知症カフェは長期休止を余儀なくされているところが多い中、令和4年9月現在、認知症カフェ広報事業にお申込みをいただいている認知症カフェは30か所になり、ありがたいことに、コロナ禍前より5か所増えました。

新しく認知症カフェを開設された運営者の方からは、コロナ禍だからこそ、「人と交流できる居場所をつくりたい」、「持ち家を利用して誰もが集える場にしたい」といった思いを伺いました。

私たち認知症地域支援推進員は、開催中の認知症カフェを訪問し、一参加者として体験させていただいて得た情報を、ホームページで提供させていただいています。お近くの認知症カフェにぜひ一度お出かけください。

また、新規立ち上げ検討中の方のご相談に応じたり、認知症カフェプレオープンの際は会場に向き、できるお手伝いをさせていただきたいと思っています。

これからは、自施設での認知症カフェ開催が難しい介護事業所や医療機関の方と、「場所はあるけれど認知症カフェの運営に不安がある」地域の方を『つなぐ』マッチングにも力を入れていきたいと思っています。

認知症の方やご家族が、安心して暮らせる地域づくりが広がることを願いながら、これからも活動していきます。



八幡東区社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター
「認知症カフェボランティア養成講座」全5回の運営のお手伝いをしました！



産声を上げたばかりのカフェを大切に育てていこうとしている人、趣味のパンづくりを活かして、来る人に喜んでもらおうとカフェ運営を続けている人、家族を看取ったあとの「自分じかん」の使い方や思案中の人など、様々な思いを持った方々が受講して下さいました。本人の思いの発信や、カフェを運営する人たちの課題を聴きしたり、運営に役立つレクや市のしくみについても詳しく学びました。ボランティア活動を希望する方と認知症カフェをつなぐ、うれしい機会になりました。

る人たちの課題を聴きしたり、運営に役立つレクや市のしくみについても詳しく学びました。ボランティア活動を希望する方と認知症カフェをつなぐ、うれしい機会になりました。

認知症カフェボランティア養成講座

北九州市内の65歳以上の高齢者約7人に1人が認知症といわれるが、認知症の人や家族、地域の方、医療・介護等の専門職等、誰もが気軽に参加できる場として市内各所で認知症カフェが開設されています。そのカフェの運営をサポートするボランティアを養成し、安心して暮らせる支えあいのまちづくりの一助となるよう講座を開催します。また、認知症に本人や関係されている方の経験、体験などレクリエーション技法も交流、活動する場の紹介も行います。

サロン活動者
 されている方にも
 おすすめです！

日 時	令和4年8月2日(火) 9日(火) 18日(木) 25日(木) 30日(火) 全5回
開催場所	八幡東区社会福祉センター 3階 研修室 (北九州市八幡東区富山町2-1)
対 象	ボランティア活動に興味のある方、認知症を理解し実践したい方
募集人数	各回20名まで
	※すべての方に参加が保証されず、参加がつかない場合があります。
会 費	無料 (詳細は募集をご覧ください)

実施主体：八幡東区社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター

まずは検索模擬訓練に向けて学ぶ！ 地域で育もう「未来の種」事業in東朽網②



まわしよみ新聞をつくらう！



認知症を大きなテーマに、異世代の4人グループで「まわしよみ新聞」をつくりました。およそ2時間のワークシヨップです。それぞれが「これは！」と思う記事や投稿、広告を新聞から3つ切り抜いて、メンバーに理由を説明。新聞名やレイアウトは相談しながら決めてコメントを入れていきます。発表では認知症理解のキーワードがバンバン出てきました。東朽網の皆さんの底力を感じました。10月の模擬訓練が楽しみです。



Coming soon!

認知症啓発月間9/21～10/20
 詳細は、認知症支援・介護予防センターHPをご覧ください。

